

平成30年度 第1回市内中学校生徒会交流会

泉佐野市教育委員会

1. 日 時 平成30年8月30日（木）15:00～16:30

2. 場 所 エブノ泉の森ホール レセプションホール（R）

3. テーマ 『泉佐野市からいじめをなくすために大切なこと
～いじめのない学校とは？生徒会のできること～』



4. 当日の様子



緊張した面持ちで会場に入ってきた各校の生徒会メンバーでしたが、アイスブレイキングの「自己紹介チェーン」や「絵描きゲーム」などで場の雰囲気や和らいできた頃、グループ協議に入っていました。

今回は、いじめのない大阪・いじめのない泉佐野・いじめのない学校にするために、大切な3つのこととして「い

じめに悩んでいる人に相談しやすい環境をつくる取組みは？」「生徒同士が、いじめを自分のこととして話し合う取組みは？」「本当の友だち関係をつくる取組みは？」のそれぞれのテーマでグループごとに取組みを考える内容をメインに会が進んでいきました。悩みながらもたくさんの案が出された後、実際に企画書を作成し、形にしていきました。

どのグループもたくさんの意見が詰まった企画書ができあがり、最後は、学校ごとに移動し、企画書の内容を発表・交流しました。いつも活動をともししているメンバーとの時間で盛り上がったところで交流会の幕を閉じました。

今後は、各学校に持ち帰った企画書をもとに、できそうな取組みから始め、いじめをなくす実践を重ねていきます。

平成30年度 第1回市内中学校生徒会交流会（F）グループの企画書

活動内容 活動テーマ	思いやりを相手に伝える。 ・普段、関わりがない人とも仲良くなるため。 ・感謝の気持ちを相手に伝える。
活動目的	
活動時期 活動期間	期間——2週間
活動内容	○教室にボックスを設置し、紙に「ありがとう」の気持ちを書き、相手に渡す。または、紙をボックスに入れる。給食時間などに、放送する。または、ボックスなどを取り出して伝える。 1枚目は、みんなで朝学活に書く。1日1枚書くことを目標とする。生徒会がカードを作る。 全校集会で発表 初日 ↓ クラスで実施（2週間） ↓（1週間） クラスごとに集計して、1冊を発表。 ↓ 書かぬという内容について、新聞で放送で発表
準備物	ボックス サンフスカド (10×10) (10×10) (10×10)

5. 生徒の感想（一部抜粋）

- ・さまざまな意見を持っている人と話し合うことで、自分が考えていた視点とは違った、また新たな視点で物事を考えられるようになったと感じました。
- ・自分の学校では出たことのない意見がたくさん出てきて、よかった。このような他の中学校の生徒会の人たちと意見を交換できる機会がもっとあればいいと思った。
- ・「いじめ」とはとても深いものだし、解決するのは簡単じゃないけど、いじめられている子がいるこの現状を変えることを、生徒会が中心となって活動していかなければならないのだと感じた。
- ・本当の友だちとは、見せかけの友だちではなく、本当に信頼できる友だちのことだと思います。ありがとうや感謝の気持ちをこれからも伝えていって、友だちとの距離を深めたいと思います。